

競技注意事項

- 1 本大会に適用する競技規則は、2025年日本陸上競技連盟規則と函館市中体連・渡島中体連申し合わせ事項による。
- 2 選手は競技以外、トラック、フィールドに立ち入ることはできない。またいかなる選手、観客、競技終了後の選手も本部席前（ホームストレート）を通過することはできない。

3 招集

- (1) 招集は以下のとおりとする。

トラック競技	競技開始時刻の30分前から15分前まで
フィールド競技	競技開始時刻の45分前から30分前まで

- (2) 上記の時間内に第4コーナーゲート付近で行う。招集を完了した後は、競技者係の指示指導に従う。
- (3) ○をつける一次点呼は行う。
- (4) 招集に遅れた者は棄権とみなし処理する。
- (5) 何らかの理由で競技を棄権する場合、一次点呼でバラプロに×を記入し、招集所の審判に必ず連絡する。
- (6) 招集完了後、勝手に招集所を離れてはならない。移動は競技者係の指示に従う。
- (7) 競技が重なっている場合は、①招集所の審判に重なっている種目を連絡し、②その後選手は最初に行う方の種目の審判にも自ら連絡し、その後の指示に従うこと。
(審判は招集時や招集後に、選手の所在が不明確にならない、選手の不利益にならないように配慮する。)
- (8) リレーのオーダー用紙は、その競技の招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出する。

- 4 アスリートビブスは、ユニフォームの胸と背に確実につける。ただし跳躍競技は胸、背のいずれか一方でよい。

5 シューズについて

- (1) 本競技場は全天候舗装であるため、全天候型専用スパイクピンを使用、長さは9mm以下とする。
ただし、走高跳は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。
- (2) ニードルピンの使用は可とする
- (3) シューズソールの厚さは競技規定内のものとする。

6 レーン・競技順

- (1) プログラム記載の上から下へ（左から右へ）の番号順とする。ただし、四種競技トラック種目はプログラム記載の番組編成とする。
- (2) トラック競技の決勝のレーン順は、番組編成で公平に抽選し、競技場入口前に掲示する。

7 トラック競技

- (1) トラック競技のプラスアルファは、写真判定にて決定する。判定不能な場合は本部で抽選する。
- (2) トラック競技の出場者は、招集の際に競技者係から腰ナンバーカードを借り受け、ランニングパンツの右腰や後方に付ける。（フィニッシュ後は必ずゴール付近の回収場所に返却する。）リレーの場合は第4走者のみつける。（フィニッシュ後、腰ナンバーカードは補助員に返却する。）

8 フィールド競技

(1) 走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。※最後の1人になるまでは下記の通り

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男 子	130	135	140	145	150	155	158	161	以後3cm毎
女 子	110	115	120	125	130	135	140	145	以後3cm毎
男 四 種	120	125	130	135	140	145	150		以後3cm毎
女 四 種	100	105	110	115	120	125	130		以後3cm毎
棒 高 跳	任意の高さ	190	以降10cmあがり						

(2) 走高跳種目において、第1位が2名以上の場合、ジャンプオフにより順位を決定する。

※天候その他の条件によって高さを変更する場合は審判長が決定する。

9 競技について

(1) 競技に使用する用器具は、全て主催者が準備したものを使用する。

(2) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。

(3) リレーでは、バトンパスが終わったら、チーム毎に自分のレーンのマークを外すこと。

(4) リレー競技においては、その学校の同系色ユニフォームを着用すること。

(5) 抗議は、TR8に従って総務に提出すること。

(6) TR16.5については、原則適用しない。(悪質なものは除く。)

(7) TR16.8により、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。ただし男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。

(8) 競技者への助力はTR6に基づくが、競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバー、携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、使用できない。

10 練習について(公開練習、競技中)

(1) 競技場の朝の開門は7時00分とする。

(2) 公開練習は7時00分～8時30分まで、とする。

(3) 競技開始前は本競技場を使用してよい。跳躍練習は競技用具の準備が完了している場合は、使用してよい。

(4) 8時30分には、使用した道具が片付けられた状態で、本競技場から退場していること。

(5) その他の練習は室内練習場または屋外走路を利用して行う。なお、走る方向は競技場と同じ反時計回りとする。(リレー練習をはじめ、レーンに貼ったテープは必ず各自で片付けること)

11 競技場について

(1) テントの設置は決められた場所のみとする。前日の場所取りはできない。

(2) 各校のテントは、芝を痛めないよう十分配慮して設置する。

12 その他

(1) 3位までの入賞者には表彰を行う。4位以下の入賞者は、賞状をエントランスホールまで取りに来る。また、優秀選手賞を選考し、競技終了式で発表する(盾は後日渡す)。学校対抗戦は行わない。

(2) 医務室はホームストレート側に設けてあり、応急処置までの用意がある。

(3) 競技進行上、競技時間等の変更もあり得る。アナウンスを聞きもらさないこと。

(4) 帰宅するときは自分のもの、またはその周辺を清掃して、マナーを意識すること。